

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	社会福祉				
担当者氏名	須郷 紳弘				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

社会福祉の理念、理論と方法を学ぶ。社会福祉の歴史を学び、福祉の価値を考える。さらに社会福祉の機関と各種施設、相談援助の理論や方法を学ぶ。現場の生の声を聞いたり、身近な時事問題に触れることで、興味をもちながら、理解を深められるようにしていく。また、事例等を使いながら進める。

《テキスト》

『社会福祉 新・基本保育シリーズ④』中央法規出版 監修：公益財団法人 児童育成協会 編集：松原康雄・坪洋一・金子充

《参考図書》

《授業の到達目標》

個人が社会生活をしていく上で生じる障がいや困難に対し、解決あるいは緩和していくための援助や資源等を学び理解する。

《授業時間外学習》

普段から、新聞やニュースなどで私たちが生活している日本社会の現状についての知識を深めておく。配布するプリントの整理をして、理解を深めること。

《成績評価の方法》

平常点(受講態度等)20%と提出物(授業中に実施するレポート等)80%で、総合的に評価する。

《備考(教員経験の有無)》

テキストに沿って授業を進めるので、テキストを必ず持参すること。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	社会福祉の理念と歴史の変遷	社会福祉の概念、理念 等
2	子ども家庭支援と社会福祉	子ども家庭福祉のめざすもの、要保護児童とその家庭への支援 等
3	社会福祉の制度と法体系	社会福祉における法律と制度、日本の社会福祉の法体系 等
4	社会福祉行財政と実施機関、社会福祉施設等	社会福祉行政の体制、社会福祉施設とは 等
5	社会福祉の専門職	専門職の条件と専門性の構造、児童福祉施設に配置される専門職 等
6	社会保障および関連制度の概要	社会保障制度とは、社会保障制度の役割 等
7	相談援助の理論	相談援助理論の体系化、相談援助理論の発展 等
8	相談援助の意義と機能	相談援助の特徴、相談援助の原則とは 等
9	相談援助の対象と過程	保育における相談援助、相談援助の過程 等
10	相談援助の方法と技術	保育現場における相談援助の方法・技術の特性 等
11	社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ	利用者の権利擁護と苦情解決、情報提供と第三者評価 等
12	少子高齢化社会における子育て支援	人口動態と少子化の現状、少子化の要因 等
13	共生社会の実現と障害者施策	障害のとらえ方、障害者の現状 等
14	在宅福祉・地域福祉の推進	地域福祉の概念、市町村地域福祉計画 等
15	諸外国の社会福祉の動向	社会福祉と福祉国家、イギリスの社会福祉の歴史と動向 等